

いかずきんズと行く八戸市中央卸売市場見学ツアー



今日は八戸市の公式マスコットキャラクター『いかずきんズ』と一緒に、八戸市中央卸売市場を案内するよ。



八戸市中央卸売市場には、野菜や果物の取引をする青果部と花の取引をする花き部があるんだ。



市場の入口にある小公園。春にはきれいなお花が咲くんだって。



ここは青果部の卸売場。まだみんなが眠っている朝の早い時間から、大勢の人達が働いているんだね。



青森県ではたくさんの野菜や果物を作っているから、この市場で取引される青果物の約6割が青森県産。卸売業者のせり人さんは、他にも全国各地から品物を集めてくるんだって。すごい量だね！



せりが始まる前には、仲卸業者や売買参加者のみなさんが念入りに下見をしたよ。ここはスーパーや八百屋さん達に卸売をする「お店屋さんのためのお店」なんだって。



後ろには青森県産のトマトがずらり。昼と夜の気温差が大きい青森県でとれるトマトは、味が良くて日持ちもいって東京の市場でも評判なんだって。



こちらは、小松菜にきゅうり。前日の夕方から夜中にかけて運ばれてきた野菜や果物のダンボール箱が、品目別にたくさん並んでたよ。



朝7時ブザーを合図に「固定せり」が始まった！威勢のいい掛け声で品物がどんどんせりにかけられていく。せりは一番高い値段を付けた人が買える仕組みだよ。



同時に4～5種類の品物がせりにかけられて、あっという間に、広い一区画分の品物が売りさばかれたよ。



こちらはせり人さんが品物の周りを移動しながらせりをする「移動せり」。売り手と買い手の真剣勝負が続く。



気合の入った声と力強い所作で、せり人さんがせりを仕切っていくよ。帽子の色で業種を区別しているんだって。



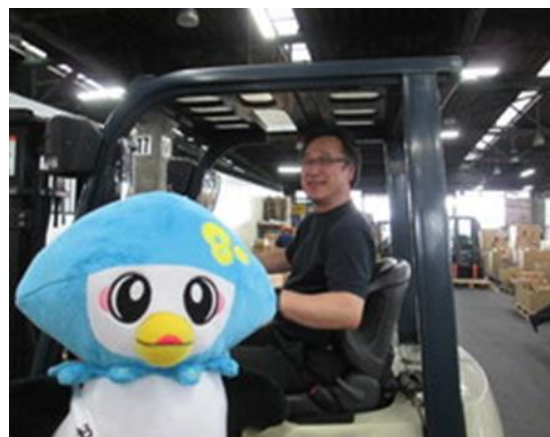
さくらんぼの時期になると、南部町などからたくさんのさくらんぼが市場に出荷されるよ。ピークの時期には1時間以上もさくらんぼのせりが行われるんだって。



せり人さんは呪文のような掛け声で次々に品物をさばっていく。ものすごい早口で仕切ってたよ！



秋になるとたくさんの県産りんごが出回るよ。貯蔵技術の向上で、今ではほぼ1年中りんごが店頭に出るんだ。



卸売場には、大根やキャベツなど大型野菜のダンボールも多いから、力持ちのフォークリフトが大活躍。



果実の売場では、プラムや桃のあま〜い香りが漂っていて、シアワセ〜♪。全国各地の産地から、旬の果物が届くんだ。



キウイフルーツはニュージーランド、バナナはフィリピンや台湾、グレープフルーツはアメリカや南アフリカ共和国から・・・と外国からもたくさん品物を集めているんだって。びっくり！



地元の農家さんが丹精込めて育てた美味しい野菜が、たくさんせりにかけられているよ。せり人さんも気合入ってるね！



青森県が日本一の生産量を誇るニンニクだよ。色白で1片が大きい品質のよいニンニクなんだって。ここだけニンニクの香りがすごい！



見渡す限り、スイカ・スイカ・スイカ！



旬の時期を迎えた、きれいな色の梅や杏がたくさん入荷してたよ。野菜や果物の色って、見ているだけで元気が出るね♪



こちらは長芋のせり。全国一の長芋の産地青森県の長芋は、甘くて粘り気が強くて美味しいよ。



美味しいメロンも入荷中。いい香り～♪



朝が一番賑やかな卸売場。せり人さん、水を得た魚のように生き生きとしているね！



市場の緑地帯をお散歩中。お向かいには八食センターさん。



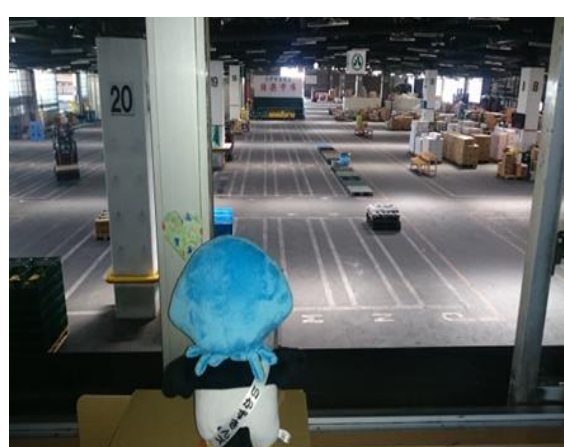
こちらは市場の“目利き”仲卸さん。鮮度の落ちやすい青果物を大量に購入し、買いやすいように小分けにして、販売するよ。看板がレトロでいい感じ♪



市場内にある仲卸さんのお店では、箱で仕入れた品物を、袋詰めやパック詰めにする作業が行われていたよ。



荷さばき上屋では、買受人のみなさんが仕入れた品物の積み込み作業が行われていたよ。これからスーパーや小売店に運ばれてみんなのところに届くんだね。



午後の卸売場。朝はあんなに活気があった卸売場も、午後になるとほとんどの荷物が運び出されて、静まり返る。夕方から夜中にかけて、全国各地から翌日のせりにかかる品物がまた届くんだって。



こちらはバナナ棟。青いバナナを熟成させるバナナ加工施設だよ。



「むろ」と呼ばれる大きな冷蔵庫にバナナを入れ、エチレンガスを注入し、約5日間置いておくと、お店に出荷できる状態になるよ。



ここは花き棟。花の取引ををするところだよ。曜日ごとに取引される花の種類が違って、「月・水・金」は切花の、「木」は鉢花のせりが行われるんだ。



こちらは切花のせり。左手のひな壇状のイスに座っているのが、買い手である仲卸さんやお花屋さん。右手の花束を手をしているのがせり人さん。



卸売業者のせり人さんがせりにかける花束を手にも、商品の説明をしているよ。



せり中にも花が到着して、卸売業者の人達が、大忙しで荷物をおろしていたよ。



卸売場には、愛知・沖縄・秋田等全国各地から集めた切花のほか、アジアやアメリカ等外国から集めた切花も並んでいたよ。



この市場には、市内はもちろん、県南地域や岩手県北地域からも、お花屋さんが買い付けにくるんだって。



卸売場には、色とりどりの花が並び、花のよい香りが立ち込めていたよ。取引のない日でも、花き棟に一步入ると花の香りに包まれるんだって。



台車に乗った鉢花が、出番を待つよ。市場で花がよく売れる時期は、お盆・お正月・お彼岸・母の日・卒業&入学シーズン・クリスマスシーズン等だよ。



こちらは関連店舗棟にある包装資材屋さん。出荷者や小売店の人が使うダンボールやパック類、ビニール袋等の包装資材を販売しているよ。



ここには、たくさん包装資材が並んでいるよ。他に、お店にない商品もお客さんの要望に合わせて様々お取り寄せしてくれたり、新商品の情報等いろんなお話も聞けるんだって。



市場内を歩き回ったらおなかがすいちゃったから、市場内にある食堂に来てみたよ。



日替定食や麺類・ご飯ものなど、ボリューム満点のメニューで、せり人さん達の胃袋を支えているよ。



こちらは秋の中央卸売市場。小公園の木々もきれいに色付いてきたよ。



市場では小学校社会科見学等の市場見学を行っているよ♪市場見学に来てね！